東大阪生協病院　連携だより

Vol. 5
発行 東大阪生協病院 地域連携課

骨密度検査（ＤＸＡ法）始めました！

東大阪生協病院では 2015 年 6 月よりDXA法による骨密度測定検査を始めました。
透視台を使用して行う検査になりますので、透視下で撮影位置の確認をしながら行う事が出来ます。
そのため従来の検査より正確に検査を行う事ができます。

★現在、空枠ありますので早期にご予約いただけます！

◆DEXA をいつ、誰に、どのように行うか
①骨粗鬆症治療を行う可能性がある症例を対象とする。
②65 歳以上の女性、危険因子を有する 65 歳未満の閉経後から閉経周辺期の女性においては、骨折リスク評価のための骨密度測定は有効である。危険因子とは、過度のアルコール摂取（1 日 3 単位以上：1 単位エタノール 8～12g）、現在の喫煙、大腿骨近位部骨折の家族歴である。
③70 歳以上の男性、危険因子を有する 50 歳以上 70 歳未満の男性においても骨密度測定は有効である。
④脆弱性骨折を有する症例は、重症度判定のため測定の対象となる。
⑤低骨密度・骨量減少をきたす疾患に罹患している、またはそれを引き起こす薬物を投与されている成人は測定の対象である。
⑥特に大腿骨頸部骨折や脊椎圧迫骨折を含む脆弱性骨折の既往のある患者さんには強く検査をお勧めします。
（骨粗鬆症の予防と治療ガイドラインより）

当院では，最新の骨密度測定装置を設置しております。

SONIALVISON G4 用骨密度測定アプリケーション　Smart BMD